

00	09	03	002	永年保存	起案	平成	年	月	日	決裁	平成	年	月	日
議長 副議長 事務局長 次長 主査 主査 担当											文書取扱主任			

第14回 市立病院建替計画等調査特別委員会 会議録

開催年月日	平成20年6月6日(金曜日)	開会：13時31分	閉会：14時05分
開催場所	第一委員会室		
出席委員	井上、山木、渡辺、酒井、本間、山口、荒木、堀、田村 議長、委員外議員～窪之内、水口、山腰、関藤	事務局	中嶋事務局長
欠席委員			田湯次長
説明員	別紙のとおり		寺嶋主査
議件	別紙のとおり		
議 事 の 概 要	1 調査事項について		
	次の事項について、所管から説明を受け、質疑を行い、すべて報告済みとした。		
	(1) 入札の公告について		
	2 その他		
	なし		
	3 次回委員会の日程について		
	正副委員長に一任することとした。		
上記記載のとおり相違ない。 市立病院建替計画等調査特別委員長 井上正雄 ㊟			

平成20年6月2日

滝川市議会議長 中 田 翼 様

滝川市長 田 村 弘

市立病院建替計画等調査特別委員会への説明員の出席について

平成20年5月28日付け滝議第33号で通知のありました市立病院建替計画等調査特別委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いいたします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いいたします。

記

滝川市長の委任を受けた者

会計管理者兼理事	飯 沼 清 孝
市立病院事務部長	東 照 明
市立病院事務部事務課長	鈴 木 靖 夫
市立病院事務部事務課改築推進室長	菊 井 弘 志
市立病院事務部事務課改築推進室主幹	田 中 武 雄
市立病院事務部事務課改築推進室副主幹	配 野 英 夫
市立病院事務部事務課改築推進室主任主事	佐 藤 智 人
市立病院事務部事務課改築推進室主任技師	横 田 和 典

(総務部総務課総務グループ)

第14回 市立病院建替計画等調査特別委員会

H20. 6. 6 (金) 13:30
第一委員会室

○開 会

○委員長挨拶(委員動静)

1. 調査事項について

(1) 入札の公告について

(資料)

2. その他

3. 次回委員会の日程について

○閉 会

第14回 市立病院建替計画等調査特別委員会会議録

H20. 6. 6 (金) 13:30～

第一委員会室

開 会 13:31

委員動静報告

- 委員 長 全員出席。議長出席。委員外議員～窪之内、水口、山腰、関藤。プレス空知、北海道新聞、北海道建設新聞から傍聴の依頼が来ている。
- 委員 長 1 調査事項について
(1)について説明願う。
- 東 部 長 (1)入札の公告について
(別紙資料に基づき説明する。)
- 委員 長 説明が終わった。質疑はあるか。
- 田 村 砂川では既に辞退という事態が起きているが、滝川では入札に参加する予定者は何社くらいいるのか。
- 東 部 長 市内業者を必ず含まなくてはならないこと、市内の場合はAまたはBに登録されている業者であること、また、市外業者については経審の点数でいろいろと制約している。最終的には参加を希望するしないは自主的なものなので何とも言えないが、建築工事でいくと市内工事でA、Bに登録されているのは9社である。市外業者については正確には言えないが、調べた限りでは滝川市に登録されているのは36社と考えている。電気設備工事については、市内業者が7社、市外業者が43社と考えている。空調設備、衛生設備工事については管工事で1本なので、市内業者が15社、市外業者が102社と考えている。
- 田 村 けさの新聞にも官官談合や業者談合など談合の話がずいぶん出ていた。入札についても九十何パーセントが八十四、五パーセントになったということがあるが、こういったことがこの大きな工事に対して絶対起きないように前もって入札説明会のときに強く説明すべきと思うが、そういう考えはあるのか。
- 東 部 長 前の委員会でも報告しているように市内業者を育成する一方で、競争性、公平性、透明性をどう保つかでいろいろと頭を悩ませたところである。入札のJV構成の条件の中で、市内業者だけでは組めない、市内業者と市外業者の組み合わせということで1つ担保を取っており、自主的な中で組んでいたただくことになる。また、最終的に何社が参加するかわからないが、ある程度の数が確保できることも含めて検討してきたという中で行われるということである。なお、説明書の注意事項等については当然説明するが、入札説明書の4のエに誓約書というのがある。この誓約書については、談合等の不正行為をしないということで当然提出させることで考えている。
- 委員 長 他に質疑はあるか。
- 窪之内委員外議員 仮に砂川のように辞退というような形が起きた場合は、何カ月くらいおくれると考えるか。
- 東 部 長 仮に本体部分の応札者がなかった場合は、すべて中止する考えである。逆に本体のほうの応札があり、電気や設備のほうでどれか応札ができない状態にある場合は、入札を執行していく。本体部分は20年度から工事が始まるが、電気や設備関係は21年度からの実質的な工事となるので、その間に内容を精査してどういう形で契約業者を決めるべきか対応を考えていきたい。厳しい予算等いろいろあるが、最善を尽くしているつもりなので、何とか落札いただけるものと信じている

- 窪之内委員外議員 入札の参加表明や時期的な期間については一般的だと、企業が企業体をつくる上できちんとした日数を確保しているのとらえてよいか。
- 東 部 長 砂川市と比較すると滝川のほうが長いことがわかれると思うが、ごく一般的に必要な部分ということで必要な日数はとってある。業者も積算等に費やす時間は十分にあると思っており、それに必要な資料はCDで提供していきたいと考えている。
- 委 員 長 他に質疑はあるか。
- 山腰委員外議員 ここに至るまでにそれぞれ建築、電気、設備を含めて何度となく要望、陳情が上がったが、発注者としては要望を聞き入れながら最終的にこの組み方にしたと思う。先の補正では原材料が上がっているから建築費を上乗せしたと。当初は電気業界のほうにエレベータを組んでの要望があった。設備、空調、衛生については3本にしてほしいとの要望もあった。結果的にはそうはならなかったが、これを地元業者の皆さんに理解いただいてスタートするわけで、部長としてはどのように理解を求めていくのか。
- 東 部 長 業者の要望については、それぞれ今言われた2点以外はほとんど実現できたと考えている。これらについては、業界の代表の方に判断に至った理由等について説明していきたいと考えている。参考までに申し上げるが、エレベータを電気ではなく本体に含めた理由だが、過去の滝川市の部分では電気を含めているのがほとんどだったということで、どちらかという金額の調整等も含めて電気を含めていたことが多い。エレベータというのは、鉄筋、鉄骨等で骨組を組んで建物本体の中に組み入れていき、最終的に電気とつなげていくということで工法的には本体と一体とするほうが適切と判断したところで、他のところでも最近では本体に組み入れるところがふえてきている。設備については、空調と衛生との2つに分けているが、3つになると空調をさらに2つに分けなくてはならない。一般的には冷房と暖房に分けることになるが、現実的には冷房も暖房も同じボイラーで行うことになり、それぞれの取り付け方法等についても一体的な関連性が出てくる。また、将来的な維持管理という部分が発生する部門でもあるので、これらについては業者を分けるメリットよりは一体でやるメリットのほうが病院側として大きいというのが1つある。2つ目に滝川市の今までの設備についても2本に分けてやってきていることがある。3番目は業者の部分で、今回これに参入しないと想定される業者がこの15社の中に何社か想定される。実際に日常業務の中身が違うということで、数がもっと絞られてくるので、これを3本にしてしまうとJVの数が非常に制約されてしまい、競争性という部分で難しい部分が出てくることを含めて2本という判断をしたところである。
- 委 員 長 他に質疑はあるか。(なし) (1)については報告済みとする。
- 委 員 長 **2 その他**
- 委 員 長 事務局からあるか。(なし) 委員から何かあるか。(なし)
- 委 員 長 **3 次回委員会の日程について**
- 委 員 長 正副委員長に一任いただけるか。(よし) 以上をもって第14回市立病院建替計画等調査特別委員会を閉会する。

閉 会 14:05